

News Release

No.60-50

2023年5月25日

採用計画に対して実績は「ほぼ計画通り」が5割を割り、 企業の採用環境は厳しいものとなっている

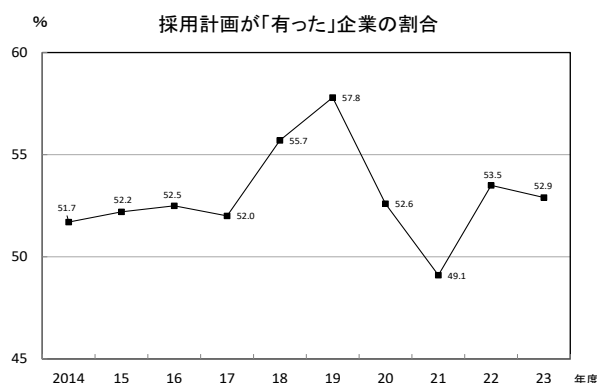
— 第41回埼玉県内新卒者採用状況調査 —

県内企業を対象に実施した「埼玉県内新卒者採用状況調査」（4月実施、対象企業1,023社、回答企業数311社、回答率32.4%）の結果は以下の通りである。

◆ 採用計画の有無

2023年4月入社の新卒者について、採用計画が「有った」企業の割合は前年調査(2022年4月)の53.5%からほぼ横ばいの52.9%(前年比▲0.6ポイント)となった。

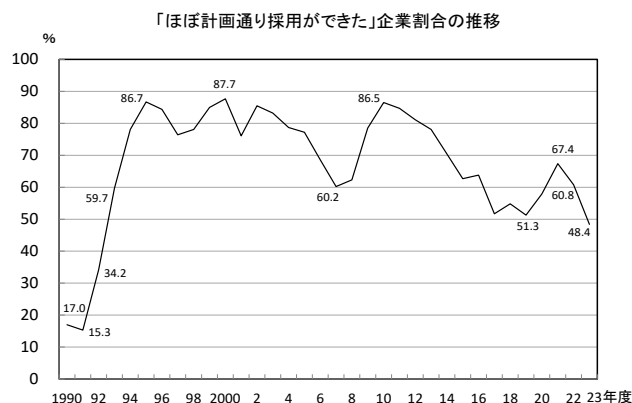
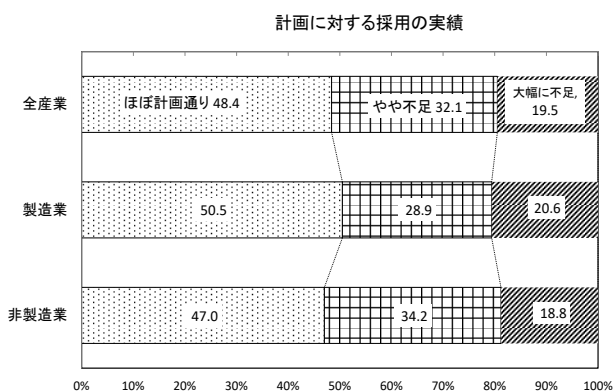
新卒者の採用計画が「有った」とする企業はコロナ禍の2021年に5割を割ったが、翌年の2022年にはコロナ禍以前の5割を超える水準に改善し、2023年もほぼ同じ結果となった。



◆ 採用実績

計画に対する採用実績は「ほぼ計画通り」が48.4%(前年比▲12.4ポイント)、「やや不足」が32.1%(同+4.7ポイント)、「大幅に不足」が19.5%(同+7.7ポイント)となった。「ほぼ計画通り」採用できたとする企業は前年より大幅に減少し、5割を割る結果となった。

「新卒者を採用したくても応募者が少ない」と採用に苦慮する県内中小企業の声は多く、企業の採用環境は厳しいものとなっている。



◆ 来年度の採用計画

来年度(2024年4月入社)の採用計画人数は、今年度より「増加」が22.6%、「変わらない」47.4%、「減少」1.5%、「未定」28.5%となった。現段階では「未定」とするところが多いため不確定な要素もあるものの、「減少」とするところは1%台にとどまり、「増加」が「減少」を大幅に上回っていることから来年度の新卒者の採用姿勢は積極的なものになると見込まれる。

(照会先:辻・吉嶺)

1. 新卒者の採用計画

(1) 採用計画の有無

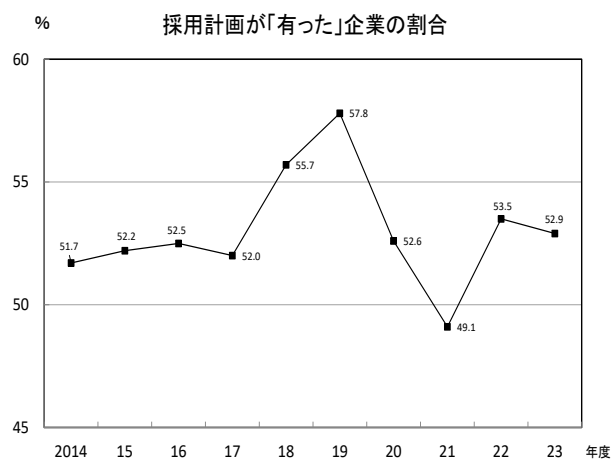
2023年4月入社の新卒者について、採用計画が「有った」企業の割合は前年調査(2022年4月)の53.5%からほぼ横ばいの52.9%(前年比▲0.6ポイント)となった。

新卒者の採用計画が「有った」とする企業はコロナ禍の2021年に5割を割ったが、翌年の2022年にはコロナ禍以前の5割を超える水準に改善し、2023年もほぼ同じ結果となった。

業種別にみると、採用計画の「有った」企業割合は製造業56.7%(前年比▲0.6ポイント)、非製造業50.5%(同▲0.9ポイント)となった。両業種ともに5割を超える企業で採用計画が「有った」としているが、特に製造業で採用計画が「有った」とする企業が多かった。

個別業種別にみると、採用計画が「有った」とする企業割合が高かったのは、製造業では、技術革新などのため人材の確保が急がれている「電気機械」(76.9%)や「輸送機械」(75.0%)、非製造業では深刻な人手不足が続く「建設業」(81.1%)や新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けたが、経済活動の再開に伴い回復が大きかった「飲食店・宿泊」(71.4%)であった。

規模別にみると、採用計画が「有った」企業は、大企業80.0%(同▲1.0ポイント)、中小企業51.1%(同▲0.4ポイント)となり、中小企業に比べ大企業で採用計画の「有った」ところが例年同様に多かった。



(2) 採用計画人数の増減

新卒者の採用計画人数は、前年に比べ「増加」20.3%（前年比▲1.9ポイント）、「変わらない」33.3%（同+1.6ポイント）、「減少」13.3%（同+1.5ポイント）、「例年ない」33.0%（同▲1.3ポイント）となり、「増加」が「減少」を上回った。

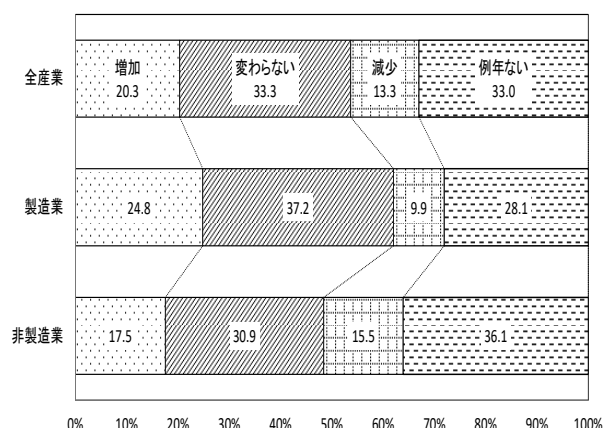
業種別にみると、製造業は「増加」24.8%（同+0.5ポイント）、「変わらない」37.2%（同+2.6ポイント）、「減少」9.9%（同▲2.2ポイント）、「例年ない」28.1%（同▲0.9ポイント）となり、非製造業は「増加」17.5%（同▲3.6ポイント）、「変わらない」30.9%（同+0.7ポイント）、「減少」15.5%（同+3.9ポイント）、「例年ない」36.1%（同▲1.1ポイント）となった。

製造業は「増加」が「減少」を14.9ポイント上回ったのに対し、非製造業は「増加」が「減少」を上回ったものの2.0ポイントと小幅なものにとどまり、企業の採用意欲は非製造業に比べ製造業で高いものとなっている。

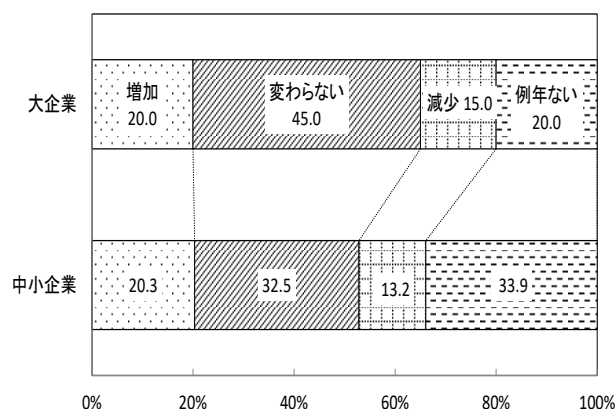
規模別では、大企業は「増加」20.0%（同▲13.3ポイント）、「変わらない」45.0%（同+6.9ポイント）、「減少」15.0%（同+0.7ポイント）、「例年ない」20.0%（同+5.7ポイント）となり、中小企業は「増加」20.3%（同▲1.1ポイント）、「変わらない」32.5%（同+1.3ポイント）、「減少」13.2%（同+1.6ポイント）、「例年ない」33.9%（同▲1.9ポイント）となった。

大企業では「増加」が前年より減ったものの「変わらない」が増え、中小企業は「増加」、「減少」とともに前年とほぼ変わらない結果となり、大企業、中小企業ともに「増加」が「減少」を上回った。

採用計画人数の前年度比増減



採用計画人数の前年度比増減
(規模別)



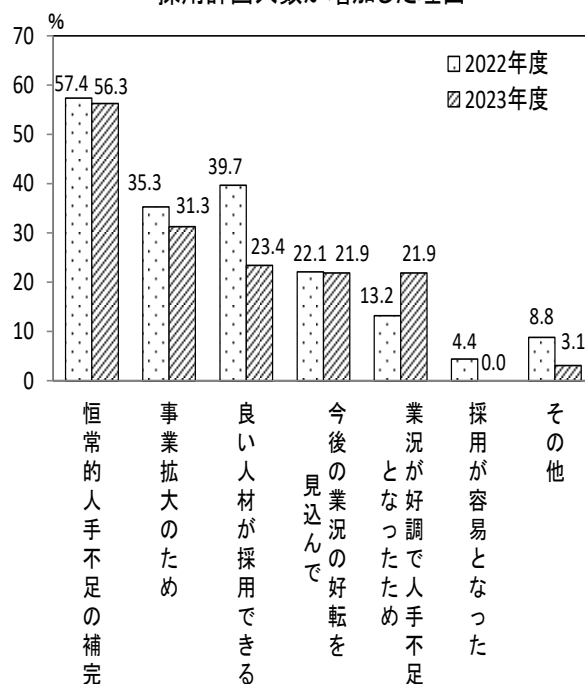
(3) 増加した理由

新卒者の採用計画人数が「増加」した企業においてその理由は(複数回答)、「恒常的人手不足の補完」が56.3%(前年比▲1.1ポイント)で最も多く、以下「事業拡大のため」31.3%(同▲4.0ポイント)、「良い人材が採用できる」23.4%(同▲16.3ポイント)、「今後の業況の好転を見込んで」21.9%(同▲0.2ポイント)、「業況が好調で人手不足となったため」21.9%(同+8.7ポイント)、「採用が容易となった」0%(同▲4.4ポイント)と続いた。

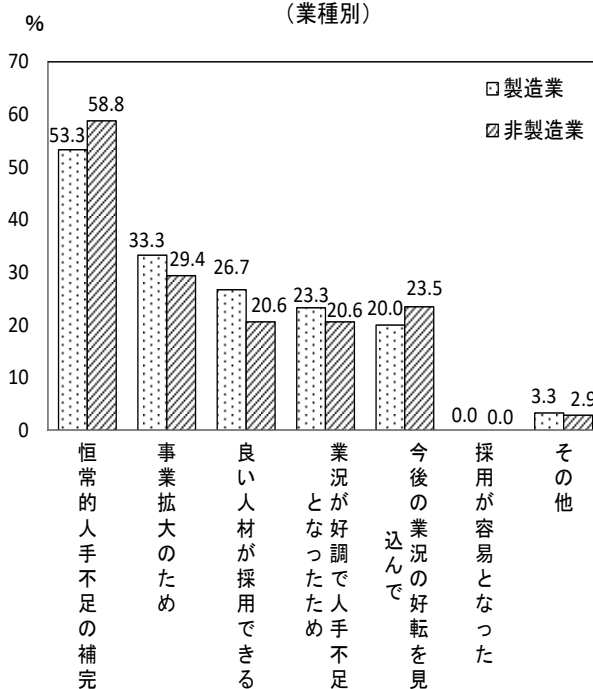
「恒常的人手不足の補完」を挙げる企業が約6割と多いことに加え、「業況が好調で人手不足となったため」を挙げる企業が前年に比べ増えており、人手不足により新卒者の採用計画人数を増やした企業が多い。一方、「良い人材が確保できる」を挙げる企業は大幅に減少しており、優れた人材を確保できる機会として新卒者の採用に臨む企業は減少している。

業種別にみると製造業は「恒常的人手不足の補完」が53.3%(前年比+3.3ポイント)で最も多く、次いで「事業拡大のため」33.3%(同+6.4ポイント)、「良い人材が採用できる」26.7%(同▲19.5ポイント)、「業況が好調で人手不足となったため」23.3%(同+11.8ポイント)と続いた。非製造業も「恒常的人手不足の補完」が58.8%(同▲3.1ポイント)で最も多く、次いで「事業拡大のため」29.4%(同▲11.1ポイント)、「今後の業況好転を見込んで」23.5%(同+4.5ポイント)、「良い人材が採用できる」、「業況が好調で人手不足となったため」がともに20.6%(それぞれ同▲15.1ポイント、同+6.3ポイント)と続いた。

採用計画人数が増加した理由



採用計画人数が増加した理由 (業種別)

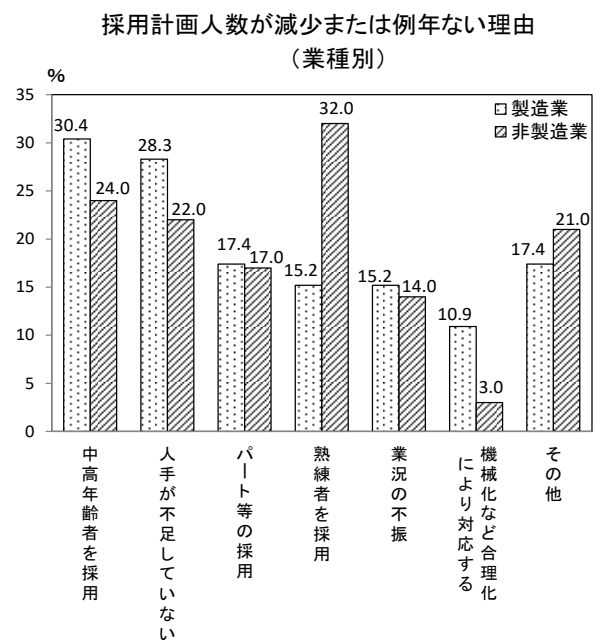
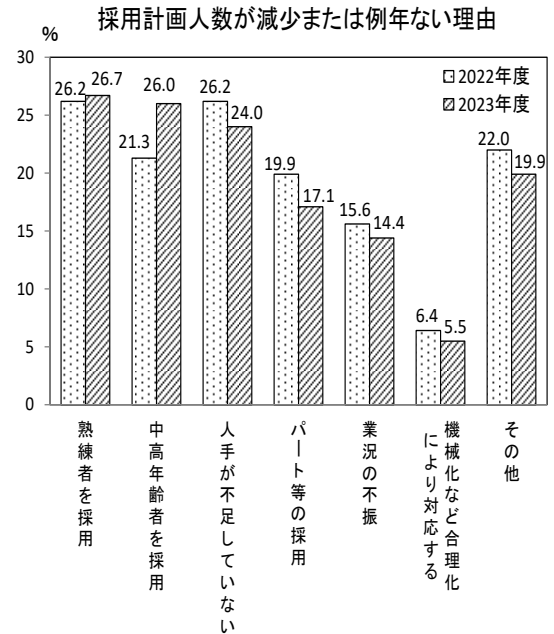


(4) 減少または例年無い理由

新卒者の採用計画人数が「減少または例年無い」理由は(複数回答)、「熟練者を採用する」が26.7%(前年比+0.5ポイント)で最も多く、次いで「中高年齢者を採用」26.0%(同+4.7ポイント)、「人手が不足していない」24.0%(同▲2.2ポイント)、「パート等の採用」17.1%(同▲2.8ポイント)、「業況の不振」14.4%(同▲1.2ポイント)、「機械化など合理化により対応する」5.5%(同▲0.9ポイント)の順となった。

「熟練者を採用」、「中高年齢者を採用」が前年より増加しており、高い専門性やスキル、経験豊かな知識をもった人材の中途採用を、採用が難しくなっている新卒者に替えて計画する企業が増えている。一方、「人手が不足していない」や「業況の不振」を挙げる企業は景気が回復するなか減っている。

業種別にみると、製造業は「中高年齢者を採用」が最も多く30.4%(同+7.7ポイント)、次いで「人手が不足していない」が28.3%(同+3.3ポイント)、「パート等の採用」17.4%(同+1.5ポイント)の順となった。非製造業では「熟練者を採用」が32.0%(同+1.1ポイント)で最も多く、次いで「中高年齢者を採用」24.0%(同+3.4ポイント)、「人手が不足していない」22.0%(同▲4.8ポイント)の順となった。



2. 採用実績

新卒者の採用計画に対する実績は「ほぼ計画通り」が48.4%（前年比▲12.4ポイント）、「やや不足」が32.1%（同+4.7ポイント）、「大幅に不足」が19.5%（同+7.7ポイント）となった。「ほぼ計画通り」採用できたとする企業は前年より大幅に減少し5割を割る結果となった。「新卒者を採用したくても応募者が少ない」と採用に苦慮する県内中小企業の声は多く、企業の採用環境は厳しいものとなっている。

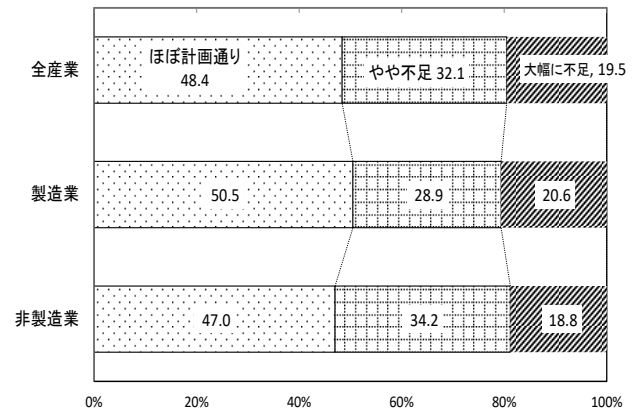
業種別にみると、製造業は「ほぼ計画通り」が50.5%（同▲11.4ポイント）、非製造業は47.0%（同▲13.1ポイント）となり、製造業、非製造業ともに「ほぼ計画通り」採用を確保できた企業は前年より大幅に減少した。

個別業種別で「ほぼ計画通り」採用できた割合が5割未満と低かった業種は、製造業で「化学」、「鉄鋼・非鉄金属」、「電気機械」、非製造業では「建設業」、「運輸・倉庫」、「電気・ガス」、「飲食店・宿泊」であった。

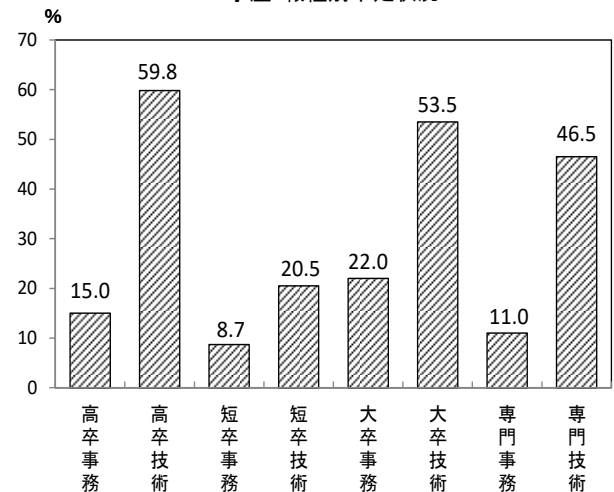
「不足」とした企業において学歴別・職種別にみた不足部門は（複数回答）、「高卒技術」が59.8%（前年比+9.3ポイント）で最も高く、以下「大卒技術」53.5%（同+0.8ポイント）、「専門技術」46.5%（同+15.3ポイント）、「大卒事務」22.0%（同▲4.9ポイント）、「短卒技術」20.5%（同+1.1ポイント）と続いた。技術系の「不足」の割合が総じて高く、前年との比較でも技術系の不足率は上昇している。

採用が計画に満たない分の対応策は「中途採

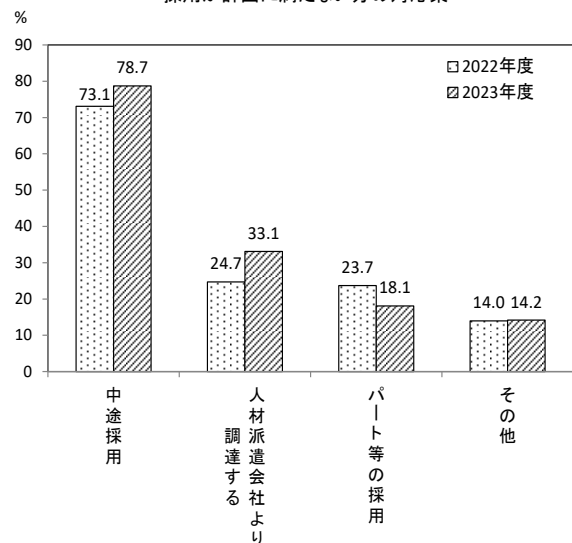
計画に対する採用の実績



学歴・職種別不足状況



採用が計画に満たない分の対応策



用」が最も多く78.7%（前年比+5.6ポイント）、以下「人材派遣会社より調達する」33.1%（同+8.4ポイント）、「パート等の採用」18.1%（同▲5.6ポイント）の順となった。「中途採用」や「人材派遣会社より調達する」ことで不足する新卒者を補うところが前年より増えている。

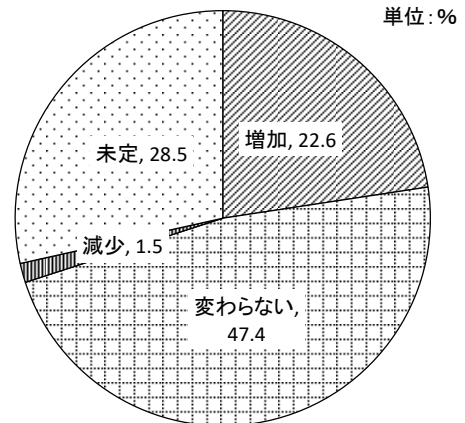
3.来年度の採用計画

来年度（2024年4月入社）の新卒者の採用計画人数は、今年度より「増加」が22.6%、「変わらない」47.4%、「減少」1.5%、「未定」28.5%となった。現段階では「未定」とするところが多いため不確定な要素もあるものの、「減少」とするところが1%台にとどまり、「増加」が「減少」を大幅に上回っていることから、来年度の新卒者への企業の採用姿勢は積極的なものになると見込まれる。

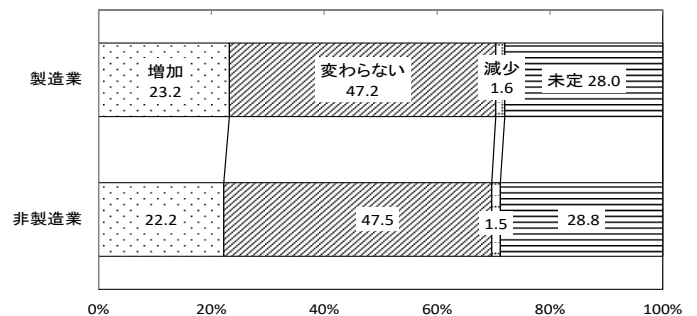
業種別でみると、製造業は「増加」23.2%、「変わらない」47.2%、「減少」1.6%、非製造業は「増加」22.2%、「変わらない」47.5%、「減少」1.5%となった。製造業、非製造業ともに「増加」が「減少」を上回っており、両業種ともに、新卒者への採用姿勢は積極的なものとなっている。

規模別では、大企業が「増加」45.0%、「変わらない」40.0%、「減少」0%、中小企業は「増加」21.1%、「変わらない」47.9%、「減少」1.7%となった。大企業は「増加」を見込む企業が多く、来年度の採用意欲は強いものとなっている。中小企業も「増加」が「減少」を大幅に上回っており、積極的な採用姿勢となっている。

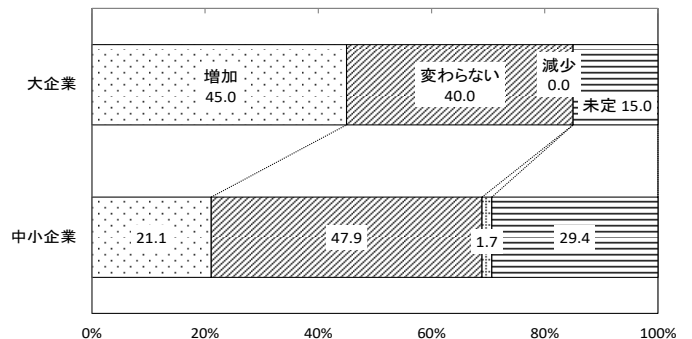
来年度の採用計画人数の増減



来年度の採用計画人数の増減（業種別）



来年度の採用計画人数の増減（規模別）



4. インターンシップの活用状況

新卒者の採用にあたって、インターンシップ（学生・生徒が在学中に企業で就業体験を行う制度）を活用したことがあるかどうかについて調査した。

インターンシップについて「活用しており、今後も続けるつもり」とする企業は33.1%（前年比+2.4ポイント）と、前年より若干増加した。インターンシップを「活用しており今後も続けるつもり」とする企業は2016年以降30%台での推移が続いている。

「活用したことはないが、今後活用してみたい」13.9%と「活用してみたいが、具体的な手法がわからない」5.0%を合わせた「現在インターンシップを活用していないが関心がある」とする企業は前年より若干減少し18.9%（同▲1.9ポイント）、また、「活用したことはあるが、今後活用するつもりはない」11.4%と「活用したことはなく、今後も活用するつもりはない」34.1%を合わせた「インターンシップへの関心がない」企業は前年比ほぼ横ばいの45.5%（同▲0.7ポイント）となった。

業種別にみると、「活用しており、今後も続けるつもり」が製造業は27.6%（前年比+1.2ポイント）、非製造業は36.6%（同+3.6ポイント）となり、製造業に比べ非製造業でインターンシップを活用している割合が高い。

規模別では、「活用しており、今後も続けるつもり」は大企業が55.0%（同▲16.4ポイント）、中小企業は31.6%（同+3.9ポイント）となり、大企業で活用している割合が高い。

新卒者採用にあたってのインターンシップの活用状況

（単位：％）

| | 全産業 | 業種別 | | 規模別 | |
|-------------------------|------|------|------|------|------|
| | | 製造業 | 非製造業 | 大企業 | 中小企業 |
| 活用しており、今後も続けるつもり | 33.1 | 27.6 | 36.6 | 55.0 | 31.6 |
| 活用したことはないが、今後活用してみたい | 13.9 | 13.8 | 13.9 | 15.0 | 13.8 |
| 活用してみたいが、具体的な手法がわからない | 5.0 | 8.1 | 3.1 | 0.0 | 5.4 |
| 活用したことはあるが、今後活用するつもりはない | 11.4 | 15.4 | 8.8 | 5.0 | 11.8 |
| 活用したことはなく、今後活用するつもりはない | 34.1 | 31.7 | 35.6 | 20.0 | 35.0 |
| その他 | 2.5 | 3.3 | 2.1 | 5.0 | 2.4 |

調査要領

1. 調査の目的

埼玉県内企業における新卒者の採用状況、ならびに来年度の採用計画を調査し、地域内企業の経営判断の参考に供し、もって地域経済の発展に寄与することを目的としている。

2. 調査対象企業

県内に事業所を置く企業の中から、概ね従業員10名以上の企業を抽出。産業分類は日本標準産業分類に基づいて製造業12業種、非製造業9業種、計21業種に分類した。対象企業の業種別内訳は別表の通り。

3. 調査方法

アンケート方式

4. 調査時期

2023年4月

5. 回収状況

アンケートの回答企業は対象企業1,023社のうち331社(回答率32.4%)。回答企業の業種別内訳とそのうち中小企業(中小企業庁方式)の占める比率は別表の通り。

別 表

業種別対象・回答企業数

| | 対象企業数 | 回答企業数 | 業種別構成比 (%) | うち中小企業の 占める比率 (%) |
|-----------|-------|-------|---------------|-------------------------|
| 全 産 業 | 1,023 | 331 | 100.0 | 94.0 |
| 製 造 業 | 390 | 127 | 38.4 | 98.4 |
| 食 料 品 | 49 | 16 | 4.8 | 100.0 |
| 織 維 | 21 | 10 | 3.0 | 100.0 |
| 紙・紙加工品 | 19 | 9 | 2.7 | 100.0 |
| 化 学 | 51 | 16 | 4.8 | 100.0 |
| 窯 業・土石 | 21 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 鉄鋼・非鉄製品 | 18 | 9 | 2.7 | 100.0 |
| 金 属 製 品 | 20 | 8 | 2.4 | 100.0 |
| 一 般 機 械 | 49 | 4 | 1.2 | 100.0 |
| 電 気 機 械 | 39 | 13 | 3.9 | 92.3 |
| 輸 送 機 械 | 48 | 16 | 4.8 | 93.8 |
| 印 刷 | 22 | 3 | 0.9 | 100.0 |
| そ の 他 製 造 | 33 | 23 | 6.9 | 100.0 |
| 非 製 造 業 | 633 | 204 | 61.6 | 91.2 |
| 卸 売 | 80 | 34 | 10.3 | 100.0 |
| 小 売 | 87 | 23 | 6.9 | 69.6 |
| 建 設 | 89 | 37 | 11.2 | 100.0 |
| 不 動 産 | 52 | 18 | 5.4 | 100.0 |
| 運 輸・倉庫 | 71 | 22 | 6.6 | 95.5 |
| 電 気・ガス | 18 | 6 | 1.8 | 83.3 |
| 情 報 通 信 | 40 | 9 | 2.7 | 100.0 |
| 飲 食 店・宿 泊 | 38 | 7 | 2.1 | 100.0 |
| サ ー ビ ス | 158 | 48 | 14.5 | 81.3 |